



## 1/18 ラミネーター モンスタートラック(RTR)取り扱い説明書

この度は、ラミネーター モンスタートラック (RTR)をお買い求め頂きまして誠に有難うございます。

アメリカのモンスタートラックコンペティションにおいて20年の歴史を持つホールブラザー・レーシングチームにより、2002-2007年シーズンのモンスタート・ナショナル・インドア・レーシング・チャンピオンに6年連続で輝くダッチラミネータートラックを1/18スケールで再現!ライセンスボディはポディペイントからロゴまで本物を完全再現しています。正にアメリカンモンスターの称号に相応しいディテールとスーパースペックに仕上がっています!先に発売された1/8モンスタートラックLSTをスケールダウンした、本格的1/18ミニ・4WDシャーシを採用しており、1/18スケールながらも、ロッシンならではのスペックが満載。バランスの取れたシャーシ設計と力強い走り、信頼性と走行安定性を重視したミニ・4WDモンスタートラックです。

### ■ご使用前に

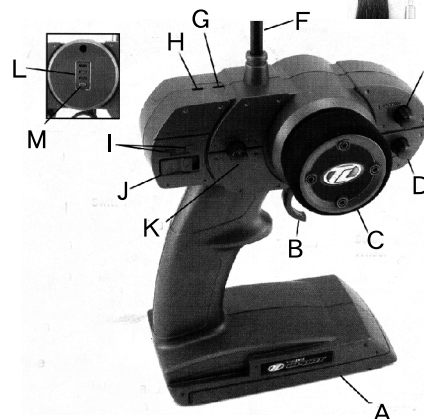
注意：ラミネーター モンスタートラック(RTR)は、塗装完成メカ済みキットです。よくご理解頂いた上でご使用ください。

- 1.十分安全確保して走行を行ってください。(同じ周波数のラジコンが近くで使用されていないかもご確認ください。)
- 2.送信機用のアルカリ電池8本が必要です。
- 3.セッティングには、5.5mmボックスドライバー、プラスドライバー、マイナスドライバー、0.05インチ六角ドライバー、はけ(清掃用)があると大変便利です。(別売)



### ★送信機(英文2ページ)

- A. 電池トレイ
- B. スロットトリガー (ラミネーターを前後に操作する事が出来ます。)
- C. ステアリングホイール (ラミネーターを左右に操作する事が出来ます。)
- D. スロットトリム (前後の操作に対する微調整が出来ます)
- E. ステアリングトリム (左右の操作に対する微調整が出来ます。)
- F. アンテナ (操縦時には伸ばしてください。)
- G. ステアリング・リバース (左右の切り替えを反転させるスイッチ)
- H. スロット・リバース (前後の切り替えを反転させるスイッチ)
- I. パワーLEDランプ (バッテリーが十分な時は、緑と赤のランプが点灯し、残量が不十分になると赤のランプのみが点灯します。)
- J. パワースイッチ(左側がオフ、右側がオン)
- K. ステアリングプレート (左右の操作に対する切れ角調整が出来ます。)
- L. TX周波数設定ボタン (ボタンを押すことによってお好みの周波数が設定できます。)
- M. TX周波数確認用LEDランプの点灯する色によって周波数が表示されます。

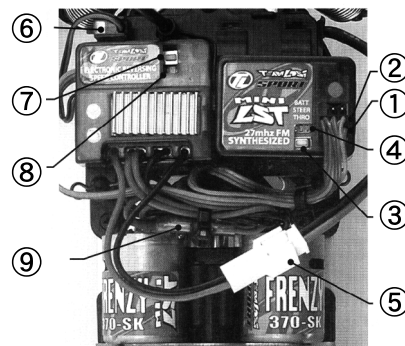


### ★受信機(英文3ページ)

- ①スロットル・ポートには、スピードコントローラーが接続されています。
- ②ステアリング・ポートには、サーボが接続されています。
- ③RX周波数設定ボタン (ボタンを押すことによってお好みの周波数が設定できます。)
- ④RX周波数確認用LEDランプの点灯する色によって周波数が表示されます。
- ⑤バッテリーコネクタ

#### スピードコントローラー

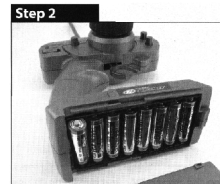
- ⑥受信機スイッチ
- ⑦セットアップボタン
- ⑧ESC用LEDランプ (スピードコントローラー)
- ⑨モーターコネクタ



### ★走行への準備 (英別紙GETTING STARTED参照)

#### Step1.

付属の動力用バッテリーを専用充電器で充電する場合は、5~6時間の充電を行ってください。(別売の急速充電器を用いる場合は、GP1100NIMH/9.6Vモードで1A以下の充電を行ってください。)

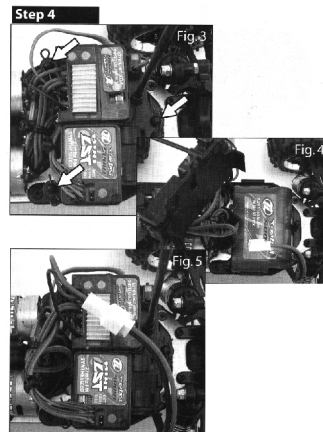
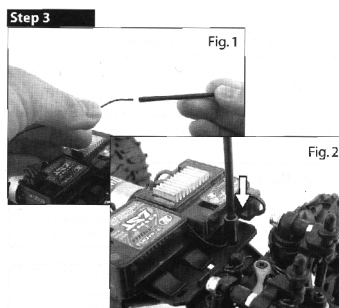


#### Step2.

送信機へアルカリ電池8本を入れます。今一度、極性を確認した後、底ブタをします。

#### Step3.

アンテナをメカプレートの下側より、アンテナポストの穴に通し、最後にアンテナパイプを取り付けます。



#### Step4.

メカプレートを固定している3箇所ボディピンを取り外し、十分に充電したバッテリーをアンプに接続し、メカプレートを固定します。

## Step5.

スイッチを入れた時に赤と緑のLEDが点灯しているか確認します。電池の残量が少なくなると緑のLEDが消え赤のLEDのみが点灯します。早めの交換をお奨めします。



## Step6. 周波数の変更方法

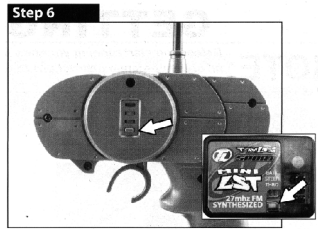
### 送信機の周波数設定

ラミネーター モンスタートラックの送受信機は、27mhzで6つの異なった周波数をボタン操作で選択することが出来るシンセサイザープロポを採用しました。

- 1.送信機へアルカリ電池8本を入れます。
- 2.送信機スイッチをオンにし、LEDが点灯しているか確認します。
- 3.周波数設定ボタンを押すことによってお好みの周波数が設定できます。(連続押しも可能)
- 4.TX周波数確認用LEDランプの点灯する色によって周波数が表示されます。(下記チャート参照)

### 受信機の周波数設定

- 5.十分に充電したバッテリーをアンブに接続します。付属の専用充電器を用いる場合は、5~6時間の充電を行ってください。(急速充電器を用いる場合は、GP1100NiMH/9.6Vモードで1A以下の充電を行ってください。)
- 6.受信機スイッチをオンにし、RX周波数確認用LEDが点灯しているか確認します。
- 7.スイッチを入れたら3秒以内にRX周波数設定ボタンを押すことによってお好みの周波数が設定できます。(連続押しも可能)
- 8.RX周波数確認用LEDランプの点灯する色によって周波数が表示されます。(下記チャート参照)



## 注意

上記操作中、送受信機が同一バンドの場合送信機から指示を出した後や周波数設定ボタンを押し3秒以上放置した場合はRXの周波数はロックされます。再度変更したい場合は、スピードコントローラー側のスイッチを一旦オフしてからオンにします。3秒以内にRX周波数設定ボタンを押すことによってお好みの周波数が設定できます。

## 周波数(27mhz)と点灯色

| バンド数と旗の色   | 周波数       | 周波数確認用LEDランプ |
|------------|-----------|--------------|
| 1 (02) / 茶 | 26.995MHz | 赤            |
| 2 (04) / 赤 | 27.045MHz | 黄            |
| 3 (06) / 橙 | 27.095MHz | 赤&黄          |
| 4 (08) / 黄 | 27.145MHz | 緑            |
| 5 (10) / 緑 | 27.195MHz | 赤&緑          |
| 6 (12) / 青 | 27.255MHz | 黄&緑          |

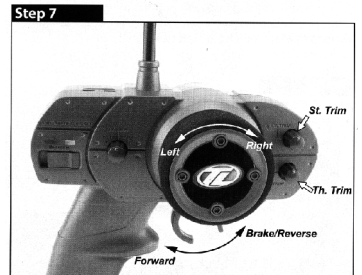
## ※注意

バンド数決定後は、他プロポメーカー発売のアンテナ用リボン(旗)を送信機のアンテナに取り付け周囲のユーザーに使用バンドを知らせてください。

## Step7.微調整

- 1.ステアリングを切らない状態で、前後進させ直進する様にステアリングトリムを左右に微調整します。
- 2.スロットルを切らない状態で、スロットル・トリムを左右に微調整し停止している状態にします。

これで走行の準備が完了しました。迫力ある走行をお楽しみください。  
走行終了後は、受信機側のスイッチを先に切り、最後に送信機を切ります。



## アンブの設定方法

工場出荷時には、初期設定がされています。(変更する必要はありません。)

- 1.送受信機のスイッチをオンにします。セットアップボタンを押すと赤と緑のESC用LEDランプが点灯します。
  - 2.トリガーを引き(全速域)セットアップボタンを押すと緑のESC用LEDランプが点灯します。
  - 3.次に、素早くトリガーを押し(後進全速域)、セットアップボタンを押すと赤ESC用LEDランプが点灯します。
  - 4.そして素早くトリガーをニュートラルに戻し、セットアップボタンを押すと緑のESC用LEDランプが点灯します。
- 注意：1.上記作業中に送信機の電波を正しく受信していない場合、アンブは反応しません。  
2.アンブの設定中はモーターは回転しません。  
3.設定中20秒以上放置すると設定モードが解除されます。

## スリッパー(英文P.4を参照)

スリッパーとは、走行中ジャンプをした時などに路面との摩擦でギアに過負荷が掛かり破損するのを防ぐものです。これを極端にゆるめると、加速が遅くなってしまいます。スリッパーナットを締めるとスリッパーが滑らなくなり、緩めるとスリッパーが滑るようになります。走行を繰り返し路面や走行条件に適した状態にセットしてください。

## ステアリングレート(英文P.4を参照)

左右の操作に対する切れ角調整を行うことで、コースに合った安定性が得られます。路面や走行条件に適した状態にセットしてください。

## トーイン&トーアウト(英文P.4を参照)

左右のフロントタイヤへのリンケージの長さを変化させることでトー角が変更できます。路面や走行条件に適した状態にセットしてください。(一般的には少しトーアウトが良いです。)

## ライドハイト

スプリング・テンショナーの数を変更することでコントロールします。

## デフの取り外し方

英文P.5を参考に分解し、ダメージを受けた部品や磨耗した部品は、早めに交換してグリスアップを行います。

## センター・トランスミッションの取り外し方

英文P.6を参考に分解し、ダメージを受けた部品や磨耗した部品は、早めに交換してグリスアップを行います。

## ショックのメンテナンス（英文P.7を参考）

- 1.スプリングを締めスプリングストッパーを取り外します。
- 2.オイルが漏れない様に、カートリッジを外します。
- 3.ナットを緩め、ピストンを取り外します。
- 4.お好みのピストンに交換しナットを締め込みます。
- 5.カートリッジを締め込みます。
- 6.ダンパーエンドを外しエア抜き用のスクリューも外しておきます。  
25w tのオイルを入れます。
- 7.ダンパーキャップを付ける時に、オイルがあふれて空気が残らない様にしてダンパーエンドを締めます。  
そして、エア抜き用のスクリューをパッキンと共に締めます。
- 8.スプリングを通しスプリングストッパーを取り付けます。

## スパーギア交換

- 1.ギアカバーを外し、スリッパーナットを緩めスリッパプレートとスパーギアを取り外します。
- 2.新しいギアに交換します。
- 3.スリッパプレートとスリッパーナットを元通りにします。

## ピニオンギア交換

- 1.同歯数のピニオンの場合はイモネジを緩めるだけで交換可能です。
- 2.もしも、違う歯数のピニオンに交換する場合は、モーターの固定用ビスを一度緩め新しいピニオンをモーターシャフトに固定します。
- 3.スパーギアとピニオンギアのバックラッシュ（噛み合わせ）を決める際は、薄い紙を噛ませモーターを固定してください。  
最後にギアカバーをビスで固定します。

## サーボの取り外し方

英文P.8を参考に分解し、サーボの交換を行います。

## 日本国内保証とサービス

走行前に必ずご確認ください。

- 1.パーツの不足、破損がないかご確認ください。走行後の破損クレームはお受け致しかねます。  
その他、ご質問等がございましたらお気軽にお問い合わせください。

## ★スペアパーツ

別紙英文PARTS LISTをご覧ください。

日本の価格は、US\$に125円をかけたものが目安となります。

US\$10.00の例.....US\$10.00 X 125 = 1250円となります。（かさ、重量、関税率の違いによって異なる場合があります。）